

「はなやか関西～文化首都年～」のロゴマークを募集します！

近畿圏広域地方計画推進室

近畿圏広域地方計画推進室では、「はなやか関西～文化首都年～」のモデル実施にあたり、関西のブランド力向上の取組である「はなやか関西～文化首都年～」のロゴマークを下記のとおり募集します。

【「はなやか関西～文化首都年～」の目的（別紙1参照）】

近畿圏広域地方計画は、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指して、近畿圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に作成された概ね10ヶ年の計画です。（国土形成計画法第9条の規定に基づき、近畿圏広域地方計画協議会における協議等を経て、平成21年8月4日に決定。）

「文化首都圏プロジェクト」は、近畿圏広域地方計画の主要プロジェクトの第1に位置づけられており、多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国を代表し牽引する役割を担う圏域「文化首都圏」の形成を図るといふものです。

「文化首都圏プロジェクト」の取組の一つとして、関西の本物の資源「ほんまもん」を活かした多様な主体による地域発意の取組を選定・支援し、国内外へ戦略的に情報発信を行う「関西ブランド」の創造が掲げられました。

広域地方計画協議会の構成機関で平成21年度に構成された「関西のブランド力向上に関する検討会」による検討の結果、「関西ブランド」を創造する具体的手法として、関西各地に存在する本物の資源を活かした地域づくりやものづくり等に関する多様な取組について、特定のテーマ毎に一括りにし、そのテーマに沿った連携事業・情報発信・イベント等に関西が一丸となって、テーマ毎に年次を定めて順次行う取組が提案されました。

このたび、この提案の効果を検証するため、平成23年度以降、こうした取組を「はなやか関西～文化首都年～」と題して、モデル実施します。

このような取組を契機とし、関西の企業・住民・公的機関が幅広くかつ広域的に連携して地域づくりへ参加することによって、関西発の観光立国や関西の産業への投資や需要の拡大が実現し、関西が我が国を牽引する文化首都圏となることを目指します。

【平成23年度テーマ 「茶の文化」(別紙1参照)】

茶はわが国で最も親しまれている食物の一つであり、古くからわが国の生活に深く根ざしています。茶を中心にわが国独特のたしなみや作法が形成され、もてなしの文化が確立されてきました。そのような「茶の文化」の中心がまさに関西であり、もてなしの文化とともに、茶を取り巻く多様な技術・商品・空間・サービスなどを後世に継承し、国内外に発信します。

この「茶の文化」という関西共通のテーマにより、従来は関西各地において、地域ご

と、分野ごとの縦割り・横割りで行われていた取組を発展させ、事業や活動をパッケージ化することにより、オール関西で価値向上への支援、本物同士の連携の斡旋や国内外への情報発信等、関西の認知度・関心度の向上を強力に推進していきます。

1. 募集作品

関西の本物のテーマを地域内外に訴求するため、選定されたテーマ毎に目標年次を設定して、テーマの重点プロモーションを実施します。関西において、毎年何らかのテーマが重点プロモーションされていることを目指します。

これらの趣旨を広く一般にPRするにふさわしい作品で、未発表のものを募集します。

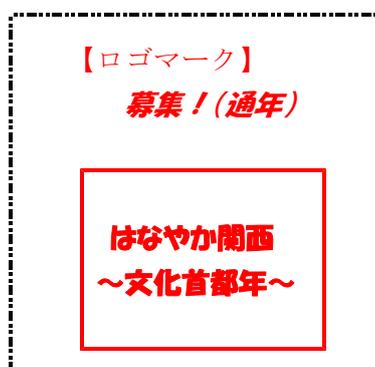
関西のブランド力向上の取組である「はなやか関西～文化首都年～」に対応したロゴマークを募集します。

なお、平成 23 年度のテーマは「茶の文化」ですが、ロゴマークについては、今後他のテーマでも一貫して使用でき得ることを考慮して制作してください。

< 例 >

【名称（ネーミング）】
(通年)

「はなやか関西～文化首都年～」



2. 作品規格

A4判のケント紙又は同サイズの内紙に、15cm×15cm又は15cm×25cm以内の範囲で表現してください。墨汁又は製図用の黒インクを使用し、必ず着色（4色まで使用可）のこと。

なお、コンピュータを用いて作成される画像（コンピュータグラフィックス）による応募も可能です。

3. 応募方法

①作品、②簡単な説明、③住所、④氏名、⑤連絡先電話番号を明記の上、次のいずれかの方法により作品をご提出ください。1人何点でも応募が可能です。

1) 郵送

〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館

国土交通省近畿地方整備局

近畿圏広域地方計画推進室 関西ブランド・ロゴマーク募集 宛

※ 作品が折れ曲がったりしないよう、厚紙を入れるなどしてください。

2) 電子メール

メールアドレス suishinshitsu@kkr.mlit.go.jp

近畿圏広域地方計画推進室 関西ブランド・ロゴマーク募集 宛

※ 題名を「関西ブランド ロゴマーク募集」として、JPG形式またはPDF形式のファイルを添付して、提出してください。

[メール応募のご注意]

①メールの容量は、4MB以下（添付ファイル含む）としてください。

②圧縮ファイルとして提出される場合は、.lzh形式に限ります。

4. 募集期間

平成22年10月18日（月）から平成22年11月12日（金）（必着）

5. 発表

平成22年12月上旬

6. 各賞

最優秀賞1点（賞状と記念品）、優秀賞数点（賞状と記念品）、入選数点（賞状）

7. その他

最優秀賞作品及び優秀作品の著作権、著作権など一切の権利は、主催者側に帰属することとします（「はなやか関西～文化首都年～」実施にあたり、PRなどに使用します）。

なお、応募作品は返却しません。

最優秀作品については、イベント等で表彰します。

8. 問い合わせ及び提出先

近畿圏広域地方計画推進室（近畿地方整備局建政部計画管理課）

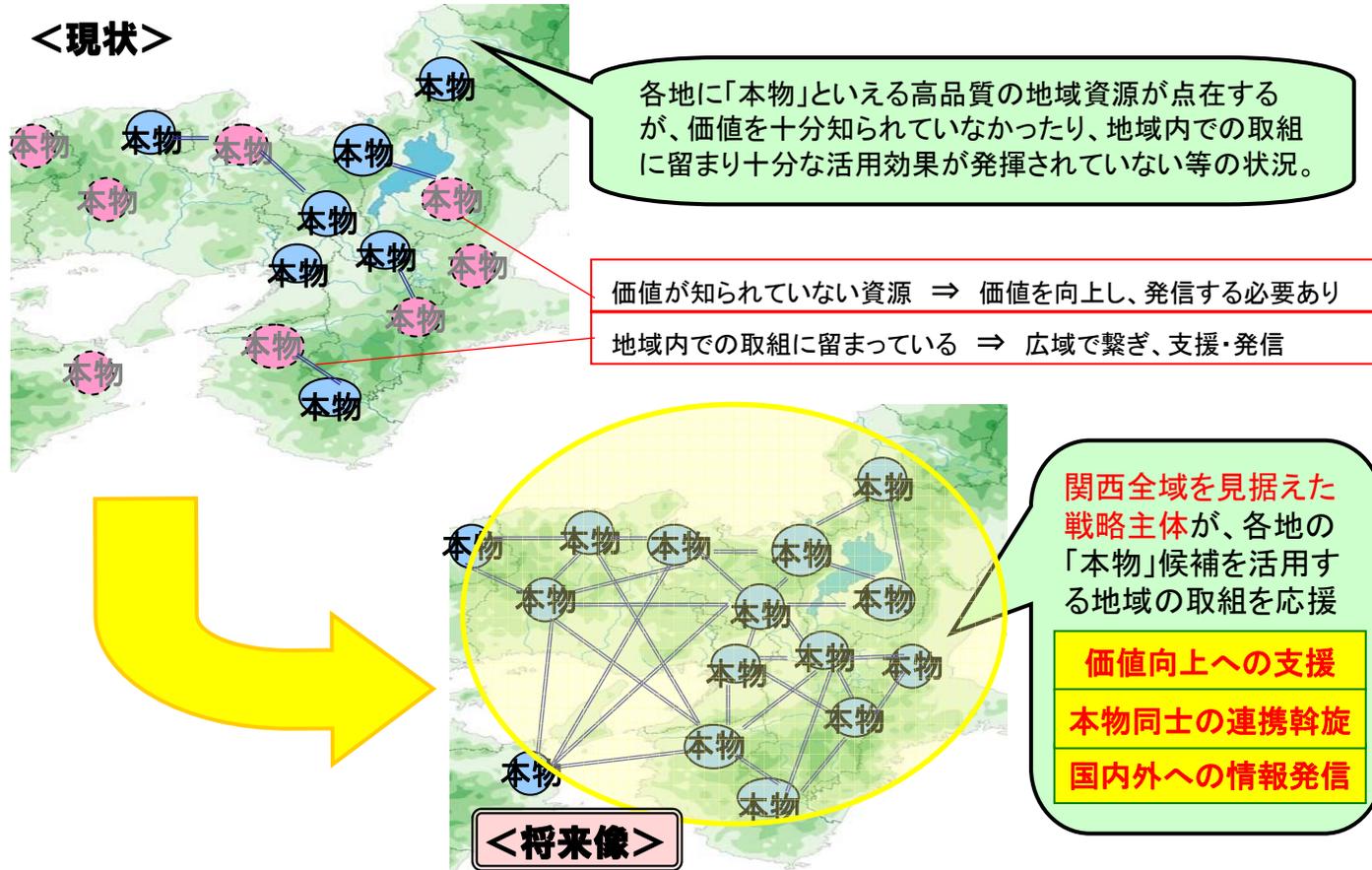
〒540-8586大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館

TEL：06-6942-1141(代表)

FAX：06-6942-1056(直通)

1. 「はなやか関西～文化首都年～」とは

- 関西※は日本の文化の源泉であり、今も「本物」の文化を継承・発展させている地域です。「はなやか関西～文化首都年～」は、関西の「文化首都圏」としてのブランドの確立をめざし、関西に根付く「本物」の文化の継承・発展に向けて、ものづくり・まちづくり・人づくりの取組みを進めるとともに、国内外にプロモーションを行うものです。
- 「はなやか関西～文化首都年～」では、関西の「本物」を代表するテーマを開催年ごとに設定し、そのテーマに応じた関西の取組について、関西の自治体、経済界、国、関係機関等がプロモーション等に対する支援を行います。
- 「はなやか関西～文化首都年～」を平成23年度にモデル実施します。



※ここでいう関西とは、近畿圏及び隣接県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県、三重県、鳥取県、徳島県)の区域を指します

関西の様々な人々が、幅広く広域的に連携して地域づくりへ参加する

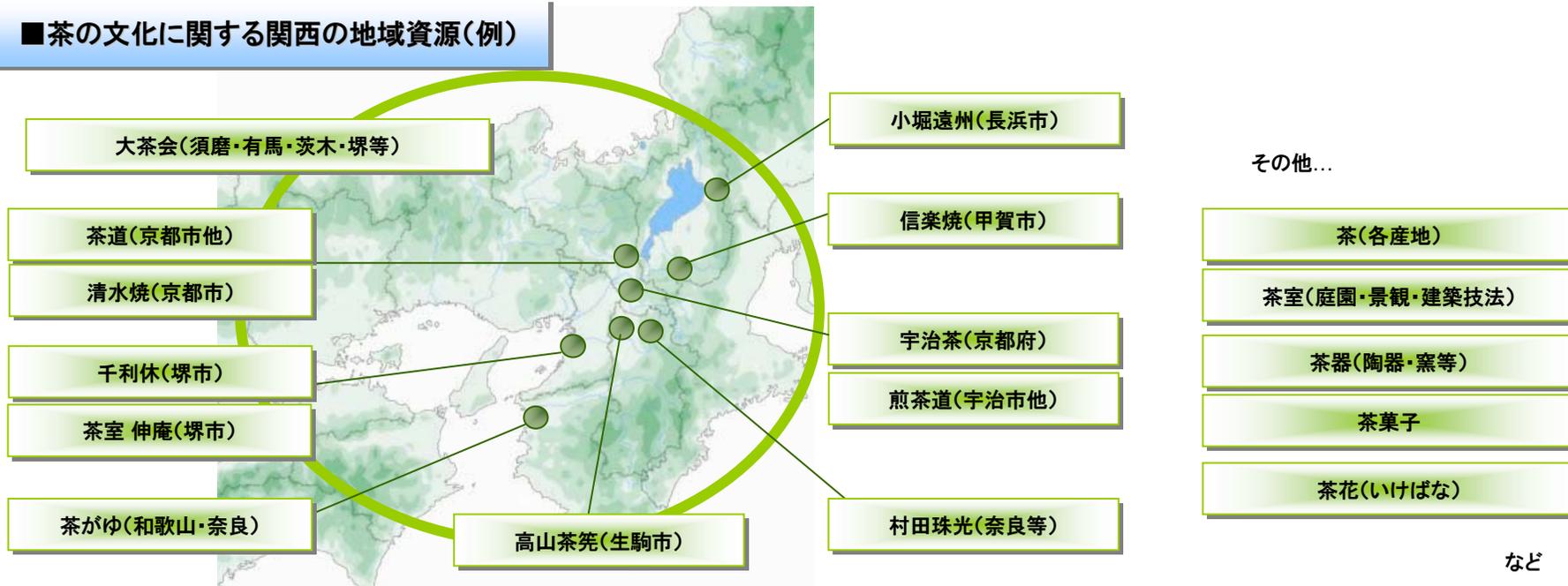
わが国を牽引する
文化首都圏関西
を実現

「はなやか関西～文化首都年～」の概要について

2. 平成23年度の「はなやか関西～文化首都年～」のテーマ

- テーマは、「**茶の文化**」です。
- 茶は日本国民にとって最も親しまれている食物の一つであり、古くからわが国の生活に深く根ざしています。茶を中心にわが国独特のたしなみや作法が形成され、もてなしの文化が確立されてきました。
- 「茶道」をはじめとする「茶の文化」は、関西がルーツであり、現在に至るまで関西に継承されています。
また、宇治茶などの茶や茶筴、茶器、茶菓子など、茶にまつわる資源を継承・発展させてきたのも関西です。
- 以上のことから、関西は日本の「茶の文化」の中心であり、もてなしとともに、茶を取り巻く多様な技術・商品・サービスなどが継承されている地域といえます。
また、「茶の文化」は、国際交流イベント等において、日本を代表する文化として紹介されており、海外において高い評価を得ています。

■茶の文化に関する関西の地域資源(例)



「はなやか関西～文化首都年～」の概要について

3. 「はなやか関西～文化首都年～」ではどのような取組みをするのか

- 大きく「A.情報発信」、「B.シンボル事業」、「C.各地域単位や連携により実施する事業」の3つの取組を実施します。

A.プロモーション事業 /関係機関が実施 (通年)

実行委員会が事業の企画立案を行い、「茶の文化」のテーマで選定された取組・事業のプロモーションを実施。関係機関の有するHPや広報誌・プレスリリース・後援名義・既存のキャンペーン・イベントなどを最大限活用して、広域による情報発信の取組を実施。
実行委員会で圏域内外に訴求するキャッチフレーズ等を作成し、これに基づいた効果的な取組を推進する。

【取組(例)】1. HPIによる情報発信 2. パンフレットによる情報発信 等

B.シンボル事業 /実行委員会が実施 (一定期間)

「茶の文化」のモデル事業をより強力に訴求するため、選定された取組・事業を連動させた広域的な交流・体験型のプログラムを集めたシンボル事業を実施。関係機関の協力の下で、実行委員会が企画立案を行い、主催する。

【取組(例)】

1. 茶の文化フォーラム
2. 日本の茶道具サミット
3. 製茶メーカーによる日本茶葉大見本市
4. 茶の文化巡りツアー
5. 「茶の文化」に関するアンテナショップ 等

実行委員会を組成し、連携可能な取組・事業をシンボル事業としてパッケージ化

C.各地域単位や連携 により実施する事業 /各地域・事業者が 実施 (期間は地域で判断)

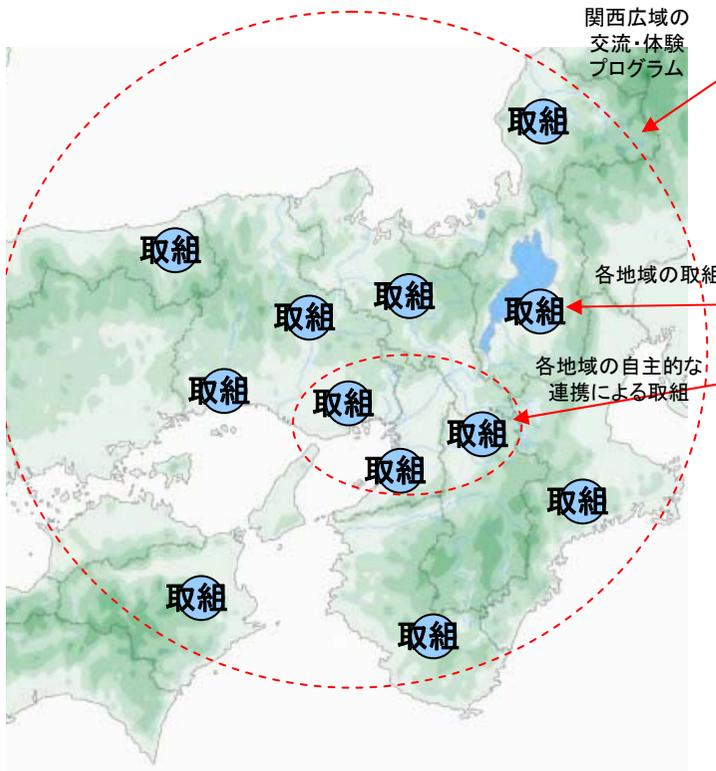
選定された取組・事業を各地域が実施。各地域の自主的な連携による取組の実施も可能。

【取組(例)】
※次ページ参照

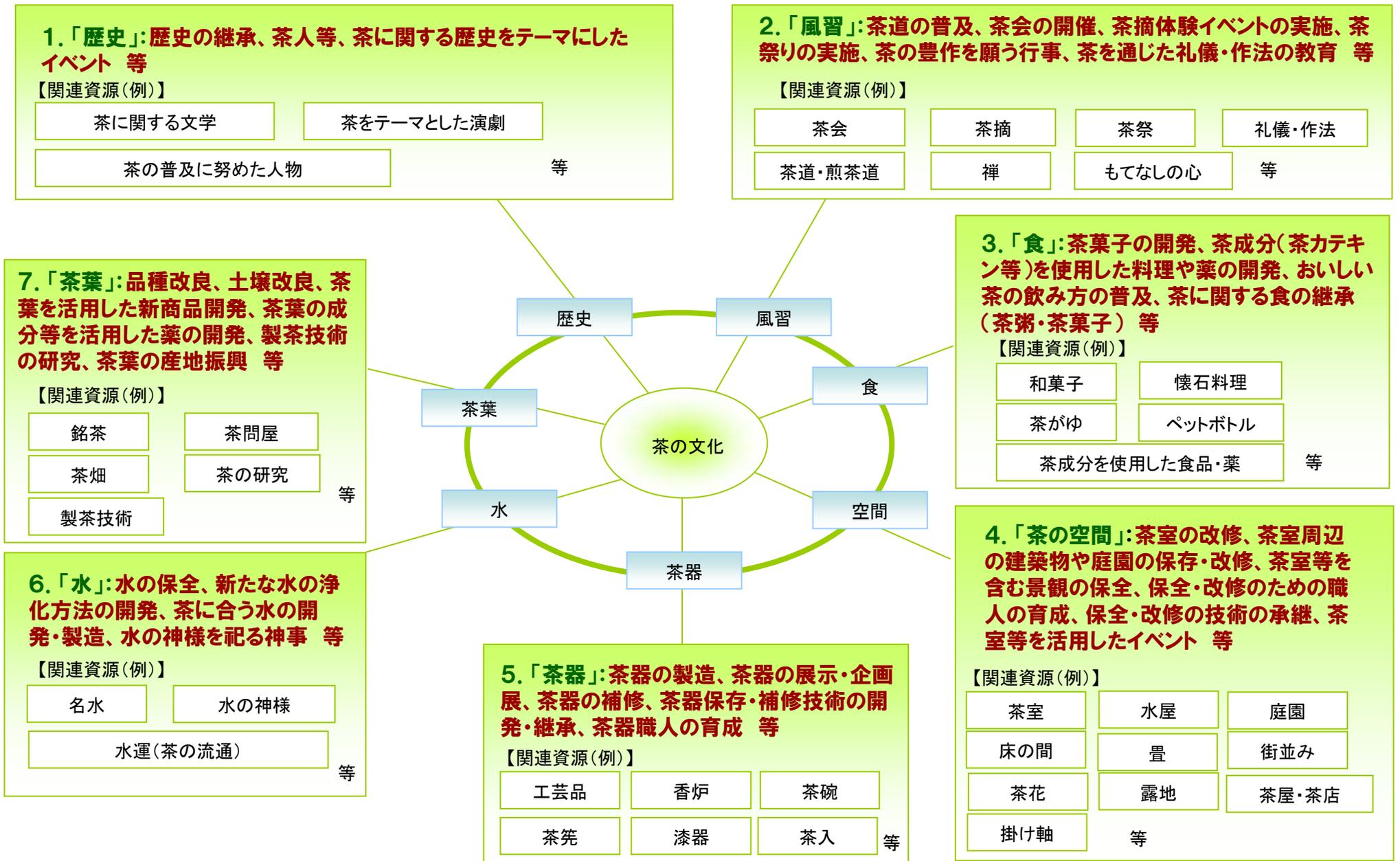
必要に応じて、関係機関が各地域の取組を支援。

【関係機関】

- < 府 県 > 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、徳島県、鳥取県
- < 指 定 都 市 > 京都市、大阪市、堺市、神戸市
- < 経 済 団 体 等 > (社)関西経済連合会、大阪商工会議所、関西広域機構、(社)関西経済同友会、京都商工会議所、堺商工会議所、神戸商工会議所
- < 国の地方支分部局 > 農林水産省近畿農政局、経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿運輸局、環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局



「はなやか関西～文化首都年～2011」テーマ「茶の文化」に関する地域の取組(例)



※ これは事務局で作成した例示であり、この他にも考えられます。